

会社紹介

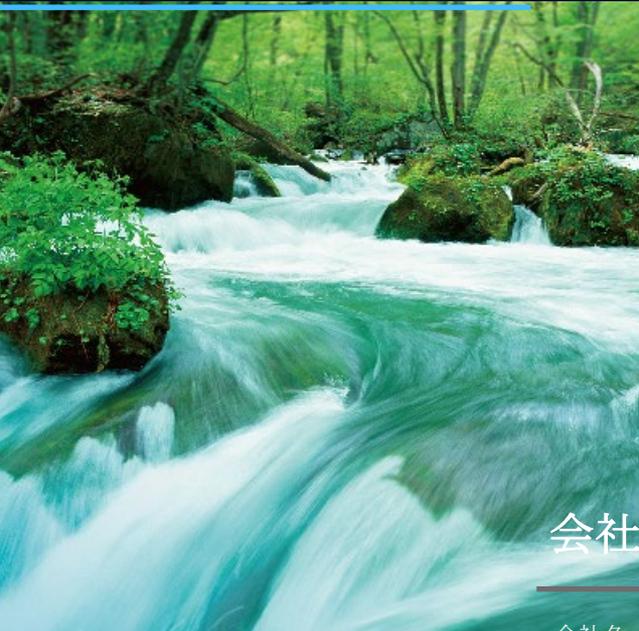
土木・石材業界での機械、工具販売を目的に平成元年に設立。

平成10年から廃水処理機の自社開発を始め今日に至っている。

土木業界においては、ウォーター・リサイクル工法として、NETISでも紹介され実績を上げている。

現在では、工場設置型の処理機も開発、販売しており、独自の処理方法が評価を得ている。

会社概要



株式会社オクトは「ウォーター・リサイクル工法」を初めとした、工事現場内で回収した排水を脱水する装置の開発・製造・販売を行っております。

独自の脱水技術を用い、小型で省スペースながら、排水の汚泥分を分離・濾過・脱水・中和を行い、排水処理の費用と産廃量の削減を可能とする、環境に配慮した企業を目指しています。

現場スペースや排水量、排水の種類に合わせた装置のご提案・ご用意を致します。

会社概要 Company profile

会社名	株式会社オクト
代表者	増田 伊三雄
資本金	1000万円
住所	〒761-0130 香川県高松市庵治町6391番地163
連絡先	TEL 087-871-2044/ FAX087-871-5065
E-mail	ocuto@ocuto.co.jp
URL	http://www.ocuto.co.jp
とび・土木工事業 許可番号	香川県知事(般-28)第6417号

01

第1営業(石材)

石材業界へダイヤモンド工具の販売と機械メンテナンスを行っております

02

第2営業(土木)

土木業界へダイヤモンド工具や水処理機の販売を行っております

03

環境事業

土木工事の排水汚泥・船舶塗膜剥離・有機汚泥等の排水処理装置の開発・製造・販売を行っております

平成13年	排水処理機の開発開始 「ポンプ装置及び廃液吸引方法」特許出願 「濾過装置付き水タンク」特許出願
平成14年	「中和濾過装置付き水タンク」特許出願 「脱水装置及び脱水方法並びに水リサイクル装置」特許出願
平成15年	・ウォーター・リサイクル工法協会を設立 （会員 45社 賛助会員 2社） ・香川県研究開発事業に認定 第20974号 （移動式切削汚泥処理システム「ウォーター・リサイクル」の研究開発）
平成16年	「脱水装置及び脱水方法並びに水リサイクル装置」特許取得 特許第3510237号
平成17年	国土交通省 新技術情報提供システム NETIS 登録される 登録番号 SK-020016 「気泡式沈殿装置」特許出願
平成18年	「中和濾過装置付き水タンク」特許取得 特許第3787309号
平成21年	・国土交通省 新技術活用システムで活用効果評価Aを取得 登録番号 SK-020016-A ・マジカル・ベコップMB-04N開発 ・マジカル・ベコップMB-04AT開発
平成23年	国土交通省 新技術活用システムで事後評価結果Vを取得 登録番号 SK-020016-V
平成24年	ものづくり支援にて全自動脱水機を開発
平成25年	「マジカル・ベコップ」商標登録 登録第5610624号
平成26年	「ウォーター・リサイクル工法」商標登録 登録第5650180号
平成27年	・国土交通省 新技術活用システムで事後評価結果VEを取得 登録番号 SK-020016-VE ・NETIS新技術発表会（千葉県庁）参加
平成28年	・NETIS新技術発表会（横浜シンポジア）参加

技術の概要

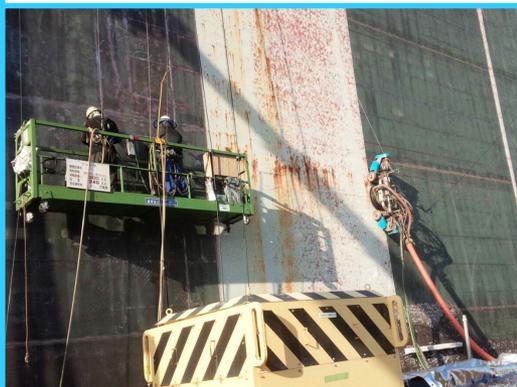
装置は車載式で移動しながら現場内で脱水等の処理を行うものと、中型トラックに積載し現場に仮設できるものを特長としている。

これらを可能にしたのが濁水処理の方法と脱水処理の方法に特長があるからである。

濁水処理方法の特長

人工ゼオライトを副材料に使用した、凝集吸着剤を使用し、水中でのフロッグ形成の過程で、重金属等、有害物質を吸着し、処理水の品質を高めているのが特長

【現場風景】



【廃水】

SS: 1460mg/ℓ
COD: 642mg/ℓ
PH: 7.8



【攪拌・分離】

使用薬品: ゼオソープ



【処理水】

SS: 9mg/ℓ
COD: 12.5mg/ℓ
PH: 7.6



【脱水】

能力: 1.8t/日

※ 原水の種類によって
変更します



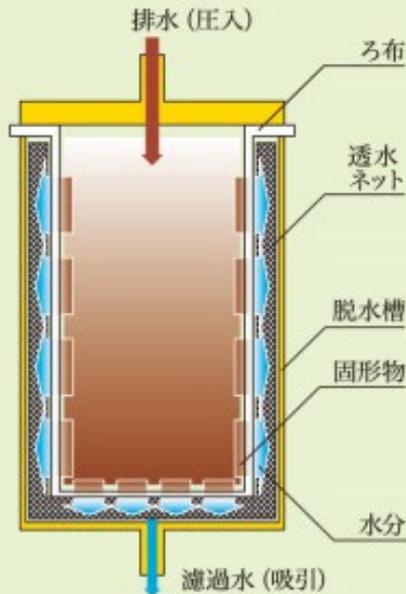
脱水処理方法の特長

脱水方法は、プレス方式に位置づけられるが、従来の方法は、濾室に廃水を圧入し、濾布を通過したものが処理水となるものである。この方法では、圧入する圧力等により濾室の強度が要求され、装置が大型化する。

そこで、当社が開発したのが圧入と同時に濾布を通過した処理水を吸入する事で濾室が軽量化され、又、同じ使用圧力でも含水率の低い脱水ケーキが作れるようになった。これが特許として認められた。

ポンプと濾室の構造

プレス&アブソープ



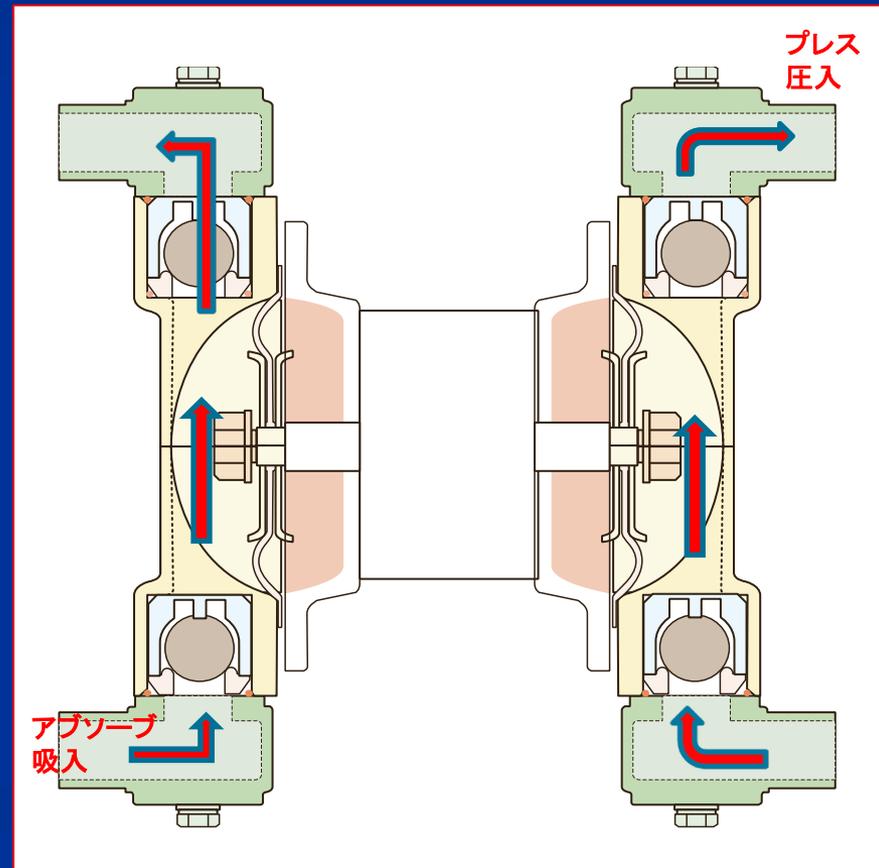
〈脱水処理概要〉

ダイヤフラムポンプにて排水を圧入し、同時に濾過水を吸入する事で、効率よく濾室内に脱水ケーキができる。



脱水後の固形分は含水率も少なく取扱いも容易な粘土状の固形物になります。

*脱水能力は固形物の含有率及び成分・体積によって変化します。



モルタルの圧縮強度試験報告書

平成 26 年 8 月 25 日

ウォーター・リサイクル工法協会 殿

香川県生コンクリート工業組合
技術試験センター
〒760-0002 香川県高松市西町28番40号
TEL 087-812-0806 FAX 087-812-0857
所長 古田 満広



顧客申請事項

顧客の名称	ウォーター・リサイクル工法協会		
顧客の住所	香川県高松市庵治町6391-163		
工事名称	アスファルト切断排水の脱水ケーキ		
供試体の作製方法	_____		
呼び方	_____		
供試体作製日	平成 26 年 8 月 22 日	試験日	平成 26 年 8 月 25 日
材 齢	3 日		
供試体搬入までの供試体養生方法	_____		
備考	_____		

試験所証明事項

受付日	平成 26 年 8 月 25 日		試験日	平成 26 年 8 月 25 日			
試験方法	ZKT-207 : 2007		供試体	顧客の持込みによる圧縮強度試験用供試体			
供試体の受け入れ状態	研 磨						
欠陥の有無及びその内	異常無						
保管方法	室内気中	保管期間	平成 26 年 8 月 25 日 ~ 平成 26 年 8 月 25 日				
顧客供試体番号	識別番号	直径 (mm)	高さ (mm)	最大荷重 (×10 ³ N)	圧縮強度 (N/mm ²)	平均値 (N/mm ²)	供試体の破壊状況
No.1	140825-008-1	49.4	100	0.252	0.131	0.182	正常
No.2	140825-008-2	49.7	100	0.342	0.176		正常
No.3	140825-008-3	49.6	100	0.340	0.176		正常
No.4	140825-008-4	49.7	101	0.474	0.244		正常
備考	_____						
承認署名者	古田 満広						



注① 本報告書の試験結果は、本書中に記載の試料についてのみ有効です。

注② 香川県生コンクリート工業組合 技術試験センターの文書による承認なしでは、完全な複製を除き試験報告書の一部のみを複製することを禁じます。

処理物の品質強度

$$0.182 \text{ (N/mm}^2\text{)} = 182 \text{ (KN/m}^2\text{)}$$

(第3種処理土の品質可能)



脱水ケーキ開封状況



供試体作成状況

どこで活用する技術か

上下水道工事、ガス工事、電気工事等道路に埋設する工事において、最初に行うのが、アスファルト道路及び、コンクリート道路の路面の切断である。

この道路切断工事にて発生する廃水をトラックに車載した装置で廃水処理を行い、処理水は再利用し、脱水ケーキは産廃として処理している工法であり活用されている。

様々な現場で活躍しているオクト廃水処理システム



機種:MB-03TS



機種:WR-03



機種:WR-02



機種:MB-03TS



機種:MB-03TS

なぜこの技術が必要なのか

開発当時(平成10年頃)は、道路切断廃水は水路、川、池、田等にそのまま放流されていた。

平成24年、水質汚濁の防止を図る観点から、国土交通省及び、環境省より「舗装の切断作業に発生する排水の処理について」の事務連絡が発信され、適正に処理するよう指示された。

その後、平成26年には現場内で脱水等の処理を行う事も適正である旨の事務連絡が発信され平成28年には各地方自治体も積極的に取り組むよう周知する旨の事務連絡が発信されている。

現状では、地方自治体によっては、当工法を初めとする現場内処理を「舗装版切断排水処理工」として「土木工事標準積算基準書」に取り入れているところもある。

資料1 *

事務連絡
平成24年 3月13日

各地方整備局
北海道開発局
沖縄総合事務局
技術管理担当課長 榎
道路工事発注担当課長 榎
道路占用許可担当課長 榎

大臣官房
技術調査課 課長補佐
道路局
路政課道路利用調整室 課長補佐
国道・防災課道路保全企画室 課長補佐

舗装の切断作業時に発生する排水の処理について

舗装切断作業の際、切断機械から発生するブレード冷却水と切削粉が混じりあった排水については、水質汚濁の防止を図る観点から、排水吸引機能を有する切断機械等により回収することとし、回収された排水については、当該作業現場が属する地方公共団体の指導等に基づき適正な処理を実施されたい。

記

- 対象工事の範囲
国土交通省が施工する直轄国道及び関連道路の舗装切断工事（道路事業）
【なお、発注済み工事等においても、変更協議等により可能な限り対応されたい。（今後の発注工事等は全て適用）】
- 工事発注時等の対応
 - 前項の対象工事（発注済み工事を除く）は、当該排水の適正な処理について、当初発注図書に盛り込むものとする。
 - 当初発注図書の作成にあたっては、回収した当該排水の適正な処理方法に関して、該当する地方公共団体（産業廃棄物担当部局）での取扱規則や基準等を予め把握し、それを反映するものとする。
 - また、当該排水処理に関する工事積算にあたっては、当面、必要に応じて見積り等により適正な工事費用を計上するものとする。
 - 適正な現場管理がなされるよう、当該排水の処理に係る産業廃棄物管理票（マニフェスト）の写しの提出等を特記仕様書等に明記するものとする。
- その他の事項
 - 直轄国道において国土交通省以外の者が施工する占用工事等については、事前協議の際に、当該排水の回収と適正な処理に関して指導すること。
 - 当該排水が生じない工法（空冷式等）を採用する場合は、当該排水と同様に、吸引する装置の併用など、粉塵の飛散防止対策を実施するとともに、収集した粉塵については、適正な運搬・処理を実施する。
- 問い合わせ
大臣官房技術調査課 技術管理係
道路局路政課道路利用調整室 高度利用係
国道・防災課道路保全企画室 道路工事調整係

FROM 羽子付Eメール

2012年 8月 28日(木) 9:37/電話 9:36/文書番号7750181822 P 2

②

①を愛知環境省の部通知資料2 *

事務連絡
平成24年3月22日

都道府県・水質汚濁防止法政令市
水質汚濁防止担当課 御中

都道府県・政令市産業廃棄物担当課 御中

環境省水・大気環境局水質課
環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部産業廃棄物課

舗装の切断作業時に発生する排水の処理について

平素より水質保全行政、産業廃棄物行政の推進に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。
さて、今般、国土交通省から、別添のとおり、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について事務連絡が发出されたので、御了知くとともに、関係部局に周知いただき、当該排水の適正な処理が図られるよう御配慮をお願いします。

事務連絡
平成26年1月8日

各地方整備局
北海道開発局
沖縄総合事務局
技術管理担当課長 様
道路工事発注担当課長 様
道路占用許可担当課長 様

大臣官房
技術調査課 課長補佐
道路局
路政課道路利用調整室 課長補佐
国道・防災課道路保全企画室 課長補佐

舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理方法について

舗装切断作業の際、切断機械から発生するブレード冷却水と切削粉が混じり合った排水については、「舗装の切断作業時に発生する排水の処理について（平成24年3月13日付事務連絡）」により、国土交通省直轄工事においては、回収し適正に処理するよう通知しているところですが、回収した当該排水の適正な処理方法について、下記に留意の上、適切に施工がなされるよう関係者に再周知されたい。

記

平成24年3月13日事務連絡の2.②にある「回収した当該排水の適正な処理方法」については、該当する地方公共団体（産業廃棄物担当部局）の取扱規則や基準等に基づき適正に処理するものとし、排水回収後、
・産業廃棄物として、そのまま産業廃棄物処理施設に持ち込み適正に処理すること
・施工現場内で脱水等の処理を行い、当該処理後の廃棄物を産業廃棄物処理施設に持ち込み適正に処理すること
等を意味するものである。

（問い合わせ）

大臣官房技術調査課 技術管理係
道路局路政課道路利用調整室 高度利用係
国道・防災課道路保全企画室 道路工事調整係

事務連絡
平成28年3月18日

各地方整備局
北海道開発局
沖縄総合事務局
技術管理担当課長 様
道路工事発注担当課長 様
道路占用許可担当課長 様

大臣官房
技術調査課 課長補佐
道路局
路政課道路利用調整室 課長補佐
国道・防災課道路保全企画室 課長補佐

舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理方法の徹底について

舗装切断作業の際、切断機械から発生するブレード冷却水と切削粉が混じり合った排水については、「舗装の切断作業時に発生する排水の処理について」（平成24年3月13日付事務連絡）及び「舗装の切断作業時に発生する排水の具体的処理方法について」（平成26年1月8日付事務連絡）により、回収し適正に処理するよう通知しているところであるが、回収した当該排水の適正な処理方法について、下記に留意の上、適切に施工がなされるよう関係者に再周知されたい。

記

平成26年1月8日付事務連絡で通知したとおり、回収した当該排水の処理については、

- ・産業廃棄物として、そのまま産業廃棄物処理施設に持ち込む
- ・施工現場内で脱水等の処理を行い、当該処理後の廃棄物を産業廃棄物処理施設に持ち込む

こと等により適正に対応されたい。
また、「適正に処理」する際には、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）に基づき、産業廃棄物の排出事業者（請負業者）が産業廃棄物の処理を委託する際、排出事業者（請負業者）は、その責任において、適正な処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を把握し処理業者に提供すること」を必要とされており、その旨を特記仕様書等に明記すること。

さらに、国土交通省以外の者が施工する占用工事については、適正な処理のために必要な廃棄物情報が、排出事業者から処理業者に対して適切に提供されるよう、事前協議の際の指導において徹底すること。

各地方整備局等におけるこれらの取り組み状況について、積極的に地方公共団体に周知すること。

（問い合わせ）

大臣官房技術調査課 事故分析係
道路局路政課 道路利用調整室 高度利用係
国道・防災課道路保全企画室 道路工事調整係

滋 監 第 1638 号
平成 28 年(2016)年 10 月 31 日

土木交通部各課長
流域政策局長
各土木事務所長
長浜土木事務所本支所長
各地域振興事務所長 } 様

土木交通部長
(公印省略)

平成 28 年度土木工事標準積算基準書の一部改定について (通知)

標記について、下記のとおり一部改定するので通知します。
ついては、関係職員に周知するとともに、工事の設計書の作成において適切に対応願います。

記

- 1 改定内容 『舗装版切排水処理工』の歩掛を別添のとおり新規制定する。
- 2 適用日 平成28年11月1日以降積算業務に着手する工事に適用する。
- 3 その他 公表用図書を管理されている所属については、公表用図書に本通知一式を添付願います。

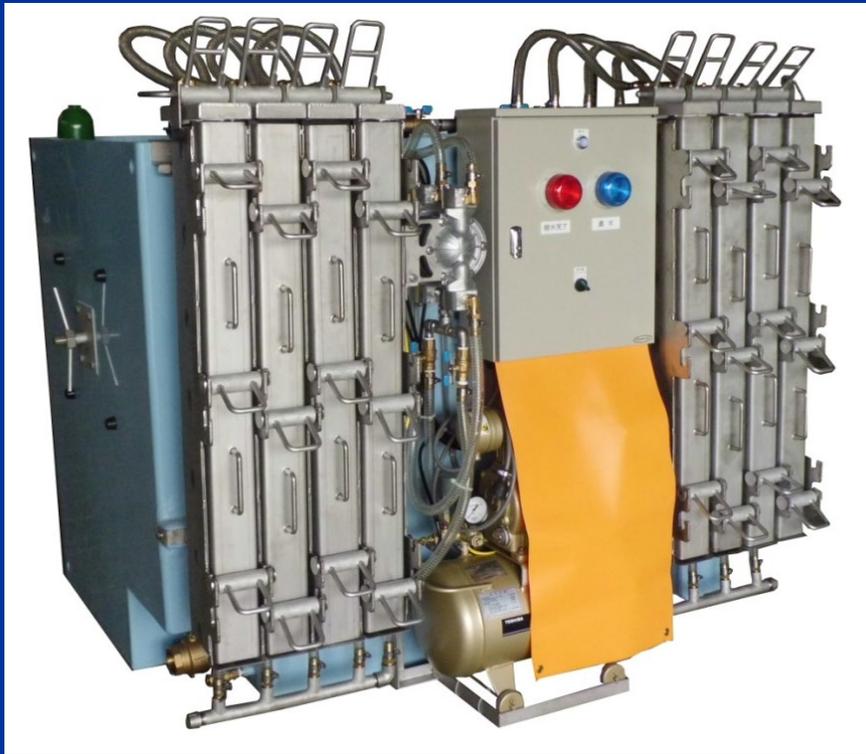
土木交通部 監理課 技術管理室
技術管理係 清水
TEL : 077-528-4118
E-mail : dbgijutsu@pref.shiga.lg.jp

開発の経緯

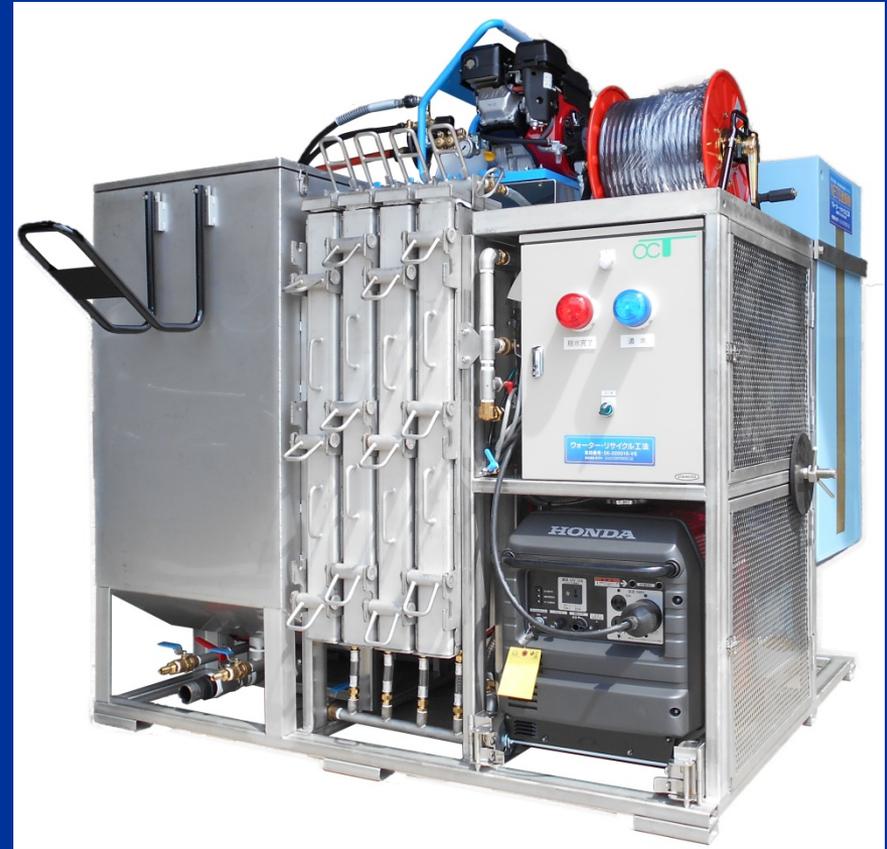
平成10年頃は、道路切断廃水は水路、川、池、田等にそのまま放流されていた。時には池の観賞魚が死んだ事故も発生していた。しかし、その処理方法、処理装置が無く打つ手が無かった。廃水の水質を調べるとPHは高く、有害物質が含まれている事が判った。そこで、最初は沈澱を主流とする装置を開発した。しかし、沈殿物の取扱が大変であった事により脱水処理できる装置へと開発を進めた。

平成14年には、脱水処理できる装置の販売を開始し、この環境対策に同調する施工業者が集い、ウォーター・リサイクル工法協会を立ち上げた。しかし、行政の協力は低く活動は低迷した。

平成24年に先の国土交通省及び、環境省の事務連絡の発信により当工法が注目され、活動が活発となった。しかし、初期型の装置は処理能力が低く、アスファルト厚み20cm以上では円滑な作業が出来なかった。そこで、能力をアップした現在の処理機を開発し、現在に至っている。



型式 : WR-03



型式 : MB-03TS

施工手順

ウォーター・リサイクル工法

WaterRecycle

ウォーター・リサイクル工法®

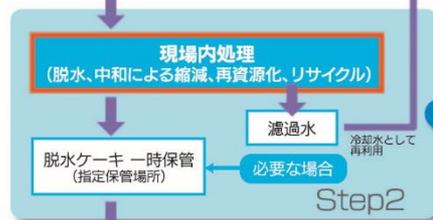
国土交通省 NETIS
(新技術情報提供システム)
登録No.SK-020016-VE

登録商標 第5650180号

道路切断工事・フロー図



※ウォーター・リサイクル工法とは、
株式会社製の NETIS 登録機
(WR シリーズ・MB シリーズ)
による工法です。



※コンクリートの切断排水



WaterRecycle

Step1

WaterRecycle

ウォーター・リサイクル工法®

国土交通省NETIS
(新技術情報提供システム)
登録No.SK-020016-VE

登録商標 第5650180号

道路切断工事・フロー図

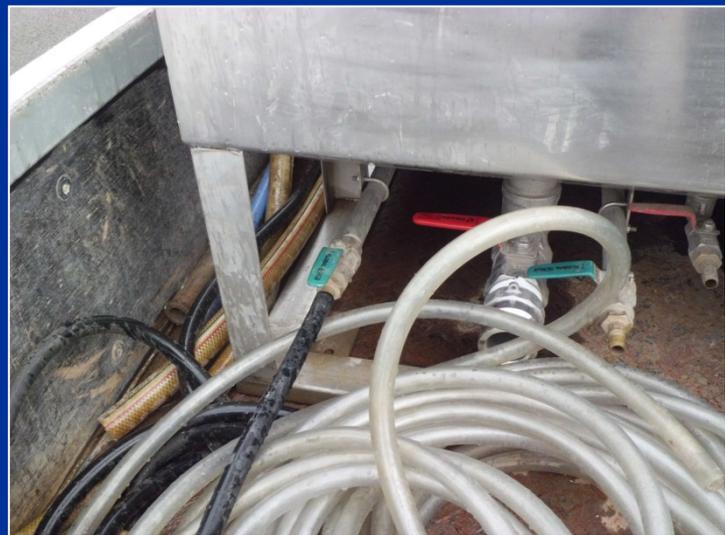


Step1

作業風景

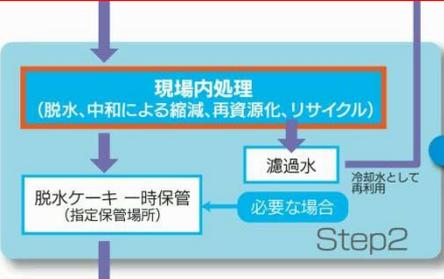


※ウォーター・リサイクル工法とは、
株式会社オクト製のNETIS登録機
(WRシリーズ・MBシリーズ)
による工法です。



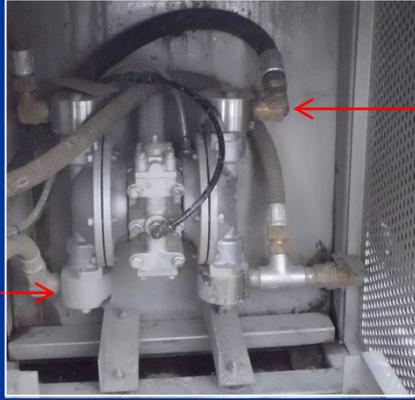
ホース(黒)ブレード冷却水
ホース(赤)切断排水回収

Step2



切断排水回収

排水の状態

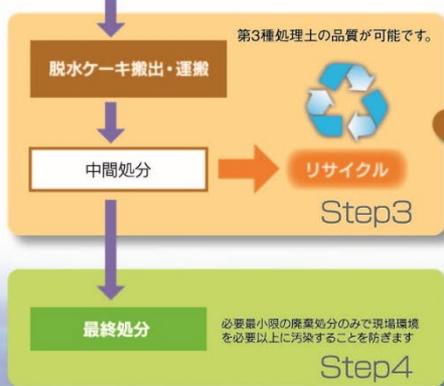


プレス&アブソープ
圧入



吸引

Step3



コスト

毎年度、ウォーター・リサイクル工法協会
では積算資料を作成し、会員初め広く示し
ています。

詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。

積算 例 香川県の場合

【切断単価計算書】 アスファルト15cm 100m切断工事

従来工法施工費(香川県)			
カッター費用	As15cm	49,400	49,400
容器代 ドラム缶	5缶	1,000	5,000
普通作業員(香川県)	1人日	15,700	15,700
2t積ダンプトラック	1日	29,000	29,000
汚泥処理費(香川県土器川碎石)	0.81m ³	12,000	9,720
			108,820円

ウォーター・リサイクル工法の施工費(香川県)			
カッター費用	As15cm	49,400	49,400
ウォーター・リサイクル費用(香川県)	As15cm	17,600	17,600
運搬費		10,000	10,000
脱水ケーキ処分費(香川県土器川碎石)	0.137t	7,000	959
			77,959円

【参考資料】
 カッター費用国交省積算版
 As 15cm 494円/m
 494 × 100m=49,400円

汚泥処理費(従来、液体)
 回収排水量 ⇒0.81m³
 ドラム缶換算で約5缶(200ℓ/缶)
 m³単価 12,000/m³
 脱水ケーキ処分費(ウォーター・リサイクル工法、固体)
 脱水ケーキ0.137t
 トン単価 7,000/t

回収(発生)汚水量及びケーキの算定表(100m当り)

舗装版種類	切断厚 cm	1日の切断距 m/5h	100m当り時間 h	ブレード		切削量 (刃厚×高さ×100m) m ³	冷却水 使用量 m ³ /100m	残存 汚水量 m ³ /100m	回収 汚水量 m ³ /100m	汚水 回収率 %	ケーキ 容量 (Vol) m ³ /100m	ケーキ 重量 (t) t/100m
				外形 吋	刃厚 mm							
アスファルト	10	300	1.7	14	3.2	0.032	0.61	0.09	0.55	0.86	0.051	0.082
アスファルト	15	200	2.5	22	3.6	0.054	0.9	0.14	0.81	0.85	0.086	0.137
アスファルト	20	150	3.3	22	3.6	0.072	1.19	0.19	1.07	0.85	0.114	0.183
アスファルト	25	120	4.2	30	4.0	0.1	1.51	0.25	1.36	0.84	0.157	0.251
アスファルト	30	100	5	30	4.0	0.12	1.8	0.3	1.62	0.84	0.188	0.301
アスファルト	35	85	5.9	38	4.5	0.158	2.12	0.37	1.91	0.84	0.248	0.396
アスファルト	40	75	6.7	38	4.5	0.18	2.41	0.42	2.17	0.84	0.282	0.451
アスファルト	45	66	7.6	46	5.0	0.225	2.74	0.5	2.47	0.83	0.348	0.557
アスファルト	50	60	8.3	46	5.0	0.25	2.99	0.55	2.69	0.83	0.387	0.619
アスファルト	55	54	9.3	54	5.5	0.303	3.35	0.64	3.01	0.82	0.464	0.742
アスファルト	60	50	10	54	5.5	0.33	3.6	0.69	3.24	0.82	0.505	0.808
アスファルト	65	46	10.9	62	5.5	0.358	3.92	0.75	3.53	0.83	0.554	0.887
アスファルト	70	43	11.6	62	5.5	0.385	4.18	0.8	3.77	0.83	0.596	0.954
アスファルト	75	40	12.5	70	5.5	0.413	4.5	0.86	4.05	0.82	0.632	1.011
アスファルト	80	38	13.2	70	5.5	0.44	4.75	0.92	4.27	0.82	0.673	1.077
コンクリート	10	150	3.3	14	3.2	0.032	1.19	0.15	1.07	0.88	0.053	0.084
コンクリート	15	100	5	22	3.6	0.054	1.8	0.23	1.62	0.87	0.088	0.14
コンクリート	20	75	6.7	22	3.6	0.072	2.41	0.31	2.17	0.87	0.117	0.187
コンクリート	25	60	8.3	30	4.0	0.1	2.99	0.4	2.69	0.87	0.163	0.26
コンクリート	30	50	10	30	4.0	0.12	3.6	0.48	3.24	0.87	0.195	0.312
コンクリート	35	42	11.9	38	4.5	0.158	4.28	0.59	3.85	0.87	0.256	0.41
コンクリート	40	38	13.2	38	4.5	0.18	4.75	0.66	4.27	0.87	0.292	0.467
コンクリート	45	33	15.2	46	5.0	0.225	5.47	0.77	4.93	0.87	0.365	0.584
コンクリート	50	30	16.7	46	5.0	0.25	6.01	0.85	5.41	0.86	0.401	0.642
コンクリート	55	27	18.5	54	5.5	0.303	6.66	0.97	5.99	0.86	0.486	0.778
コンクリート	60	25	20	54	5.5	0.33	7.2	1.05	6.48	0.86	0.529	0.847
コンクリート	65	23	21.7	62	5.5	0.358	7.81	1.14	7.03	0.86	0.574	0.919
コンクリート	70	22	22.7	62	5.5	0.385	8.17	1.2	7.36	0.86	0.618	0.988
コンクリート	75	20	25	70	5.5	0.413	9	1.31	8.1	0.86	0.663	1.06
コンクリート	80	19	26.3	70	5.5	0.44	9.47	1.39	8.52	0.86	0.706	1.129

算定条件

- 稼働時間 切削工事及びノロ処理装置の一日実働時間を5時間とする。
- ②切削距離 平均実績値
- ⑦冷却水使用量 切削刃の冷却水量 6L/minで算出 360L/Hr
(実績値は 6L/min~10L/min)
メーカー推奨値 6L/min以上
- ⑧残存汚水量 =⑥切削(満)体積+路面残量 … 吸引出来ない路面に残る汚水量
⑥切削(満)体積(m³)=①切削深度(m)×⑤切削巾(m)×100m
路面残量=⑦冷却水使用量×0.1 (0.1は汚水回収テストにより求めた)
- ⑨回収汚水量 =⑥切削量+⑦冷却水使用量-⑧残存汚水量
- ⑩汚水回収率 =⑨回収汚水量÷(⑥切削量+⑦冷却水使用量)
- ⑪ケーキ量(Vol) =⑫ケーキ重量÷比重
アスファルト・コンクリート・アスコン全て 比重=1.6で算出(比重1.6は当社経験値)
- ⑫ケーキ重量 =(⑥切削量×⑩回収率×比重)×(1+含水率)
アスファルト・コンクリート・アスコン全て 比重=2.35・含水率=27%で算出

施工実績

全国では既に何千件、何万件の工事に使用されております。

施工状況等、現場確認されたい方は、当協会会員までお問い合わせ下さい。

特許・技術証明

国土交通省 NETIS(登録No.SK-020016-VE)に登録されていました。

現在は登録されていませんが、実績ある工法として認知されております。

よくある質問

質問

脱水後の処理物はどのように取扱えば良いのですか

回答

脱水後の処理物の品質は一軸強度182 (kn/m²)の実績で第3種処理工の品質が可能ですが、その取扱いに関しては、当該部所の判断となります。

質問

なぜ現場で脱水処理をする必要があるのですか。
そのまま処理施設に運搬した方が楽だと思いますが。

回答

作業上は液体のまま処理施設に運搬の方が楽でしょう。しかし、次の問題点があります。

問題点1

道路切断廃水は、作業水と切断粉の混ざった廃水であり、アルカリ性を程した汚泥水です。
廃水性状から見て適正に処理できる処理施設が少ない。
現状は廃水性状の確認なく「汚泥」として処理している場合が多い。

処理後の処理物は、溶出せず、適正に処理できる処理施設が多くあります。

問題点2

運搬に関して、液体は撒き散らさないように密閉した容器に入れ運搬する必要があります。

脱水後の処理物はダンプトラックに積載して運搬する事ができ安全です。

問題点3

液体のまま処理する場合、持参した作業水が無くなった時や回収するタンクが汚水で満たされた時、それ以上作業が出来ない為、作業時間が短くなります。

処理水を再利用し、処理物はダンプ等に積載出来る事から、作業時間が長くなります。